

# 「風力発電施設に係る風景研究会」 での議論について

1. 風景・景観の分析、評価、操作のための整理
2. 自然公園における景観について

平成15年11月17日

下村彰男

(東京大学大学院農学生命科学研究科)

# 1. 風景・景観の分析、評価、操作のための整理

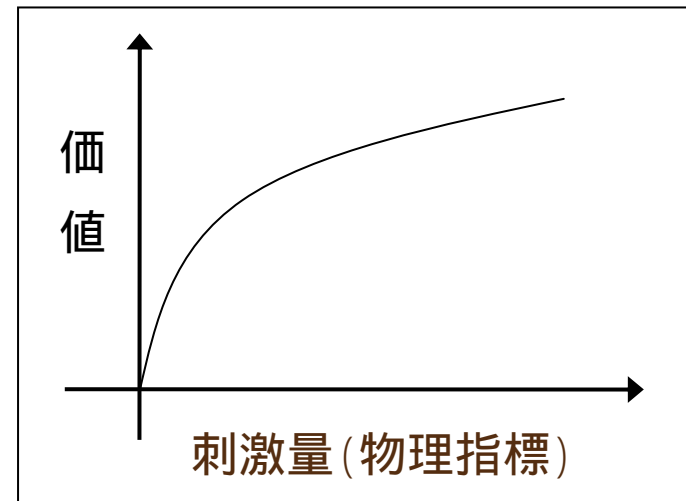
・風景・景観の問題は、なぜ「分かりにくい」、「主観的」と言われがちなのか。

- 1) 立脚点(観点): 枠組み整理の必要性
- 2) 関係の操作: ケースバイケースの対応
- 3) 意味: 視覚像とその背景

## 1) 立脚点(観点) : 枠組み整理の必要性

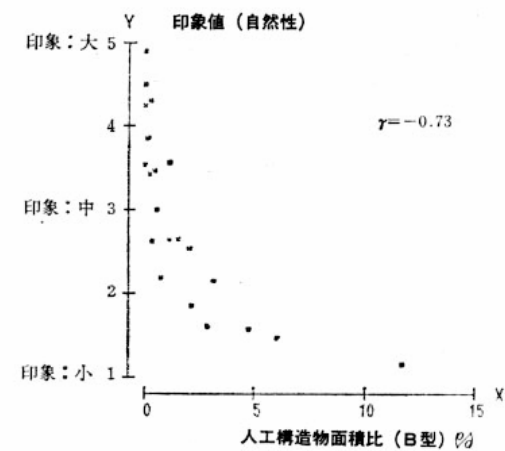
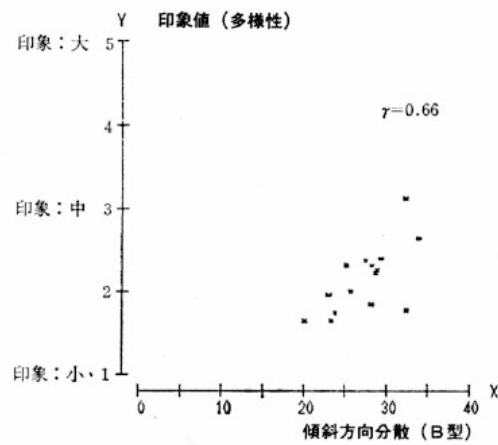
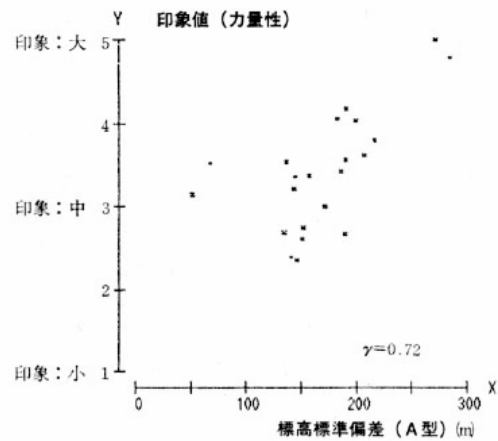
\* 風景・景観は総合的、複合的事象であり、分析的に捉えるためには立脚点(観点)を明確にする必要がある。

・ 風景・景観とその価値との対応を検討するためには、分析等の枠組みを整理し、立脚点を明確にする必要がある。



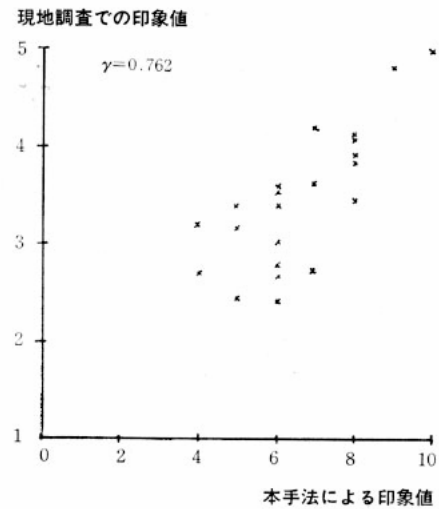
・例えば、「優れた」「美しい」は総合的価値軸であり、分解して考える必要がある。

< 現地での印象評価値と物理指標との対応 >

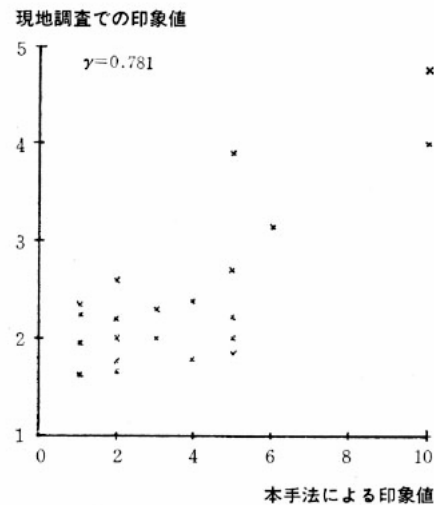


< モデルによって求めた評価値と印象評価値との対応 >

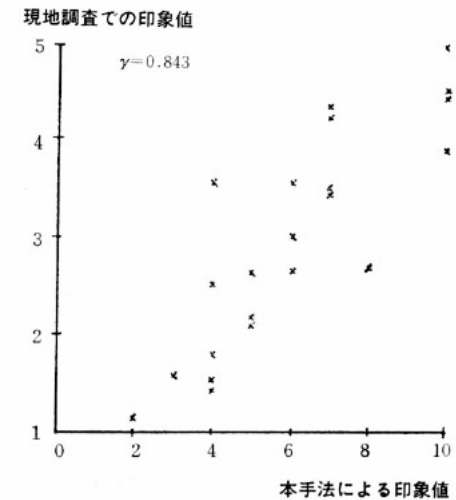
● 力量性 (垂直方向)



● 多 様 性



● 自 然 性

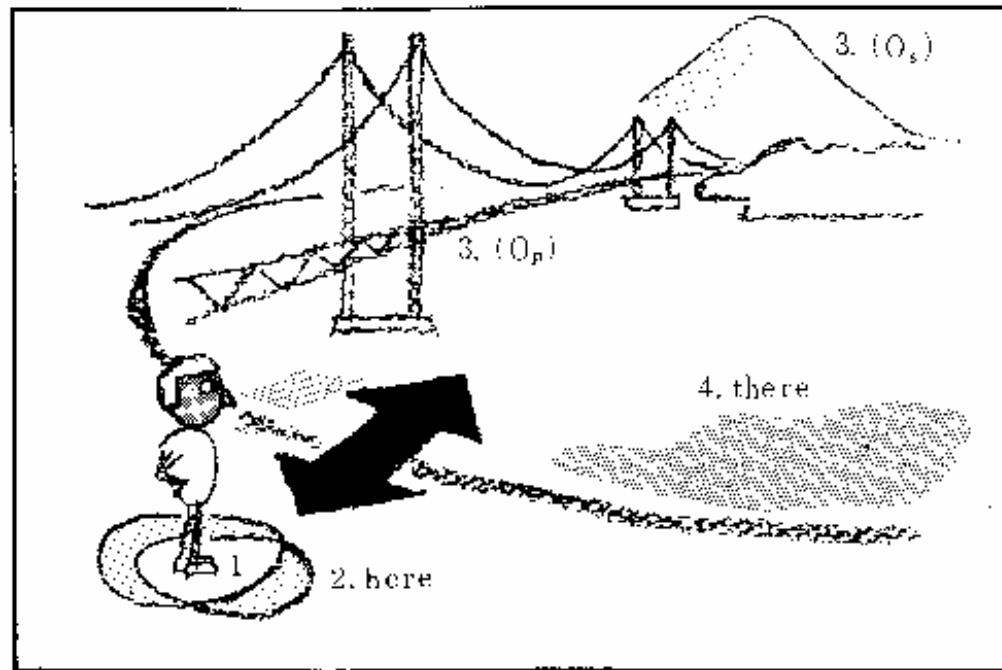


## 2) 関係の操作: ケースバイケースの対応

\* 景観の計画、設計とは下記の要素の「関係の操作」であり、対応はケース毎に異なる。

1. 視点
2. 視点場
3. 主対象
4. 対象場

(シーン)景観把握モデル  
(篠原修による)



## 例・「対象場」と「主対象」との関係



対象場への同化に配慮されている例



対象場との対比が図られている例

## 例・「視点場」と「主対象(対象場)」との関係

・視点場の処理による、「here」「there」の関係の演出例



「here」「there」の明確化により、主対象(対象場)の「対象化」が図られている例



「here」「there」の曖昧化により、主対象(対象場)との「同化」が図られている例



## 例・主対象(要素群)における要素相互の関係



「統一感」と「多様性」のバランス

【画一的】



【煩雑】



### 3) 意味 (視覚像としての景観の背後にあるもの)

\* 風景・景観の分析、評価に際しては下記のような立脚点からの検討がある。

視覚論的検討：ディスプレイ論、調和、構図

身体論的検討：人間尺度、仮想行動

意味論的検討：歴史、文化、地域個性、原風景、  
生活様式

\* 意味論的検討への関心が高まりつつある。

### 3) 意味 : 「調和」と「親和」

**調和** : 視覚論的立場からの評価検討

「同化型調和」

「対比型調和」

**親和** : 意味論的立場からの評価検討

親和するためには(場所的)必然性  
と時間が必要

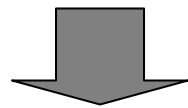
## 2. 自然公園における景観について

- 1) 自然公園の役割
- 2) 自然公園における景観管理の考え方
- 3) 景観影響に関する検討
  - (1) 身体的、視覚的特性
  - (2) 同化型景観調和
  - (3) 要素の複合

# 1) 自然公園の役割

## < 自然公園法: 目的 >

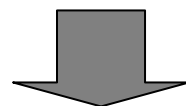
(この法律は、)すぐれた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保健、休養、及び教化に資することを目的とする。



\* すぐれた自然の風景地を保護し、利用を増進することを国民より負託されている。

## 2) 自然公園における景観管理の立脚点

\* 自然公園においては、「すぐれた自然の風景(地)」が主役である



\* 自然風景への影響を最小限に止めることが基本であり、景観調和に関しても、「対比型」ではなく、「同化型」の調和問題として管理する

## 補：「主役」とは？ ： 「図」と「地」

\* 風景・景観における「主役」とは「図」として認識されること。

### < 「図」の性格 >

- ・ 図は形をもつが、地は形の印象を伴わない。
- ・ 共通の境目に生じる輪郭は図に帰属して知覚されるのに対し、地は図の背後にまで広がって感じられる。
- ・ 図は物の性質を有し、地は形状のない素材の性質をもって現れる。
- ・ 図は前面に、地はその後方にひっこんで見えがちである。
- ・ 図は一層印象的で、何らかの意味を担いがちであり、一層記憶に残りやすい。

## 3) 景観影響に関する検討

### (1) 身体的、視覚的特性

- ・人間尺度、生理的側面からの検討
- ・立地場所による影響

### (2) 同化型景観調和(単体)

- ・対象場との景観調和の検討  
(対象場の性格によって検討は異なる)
- ・分析、評価、操作のための指標  
大きさ、形状、色彩、テクスチャ 等

### (3) 要素の複合

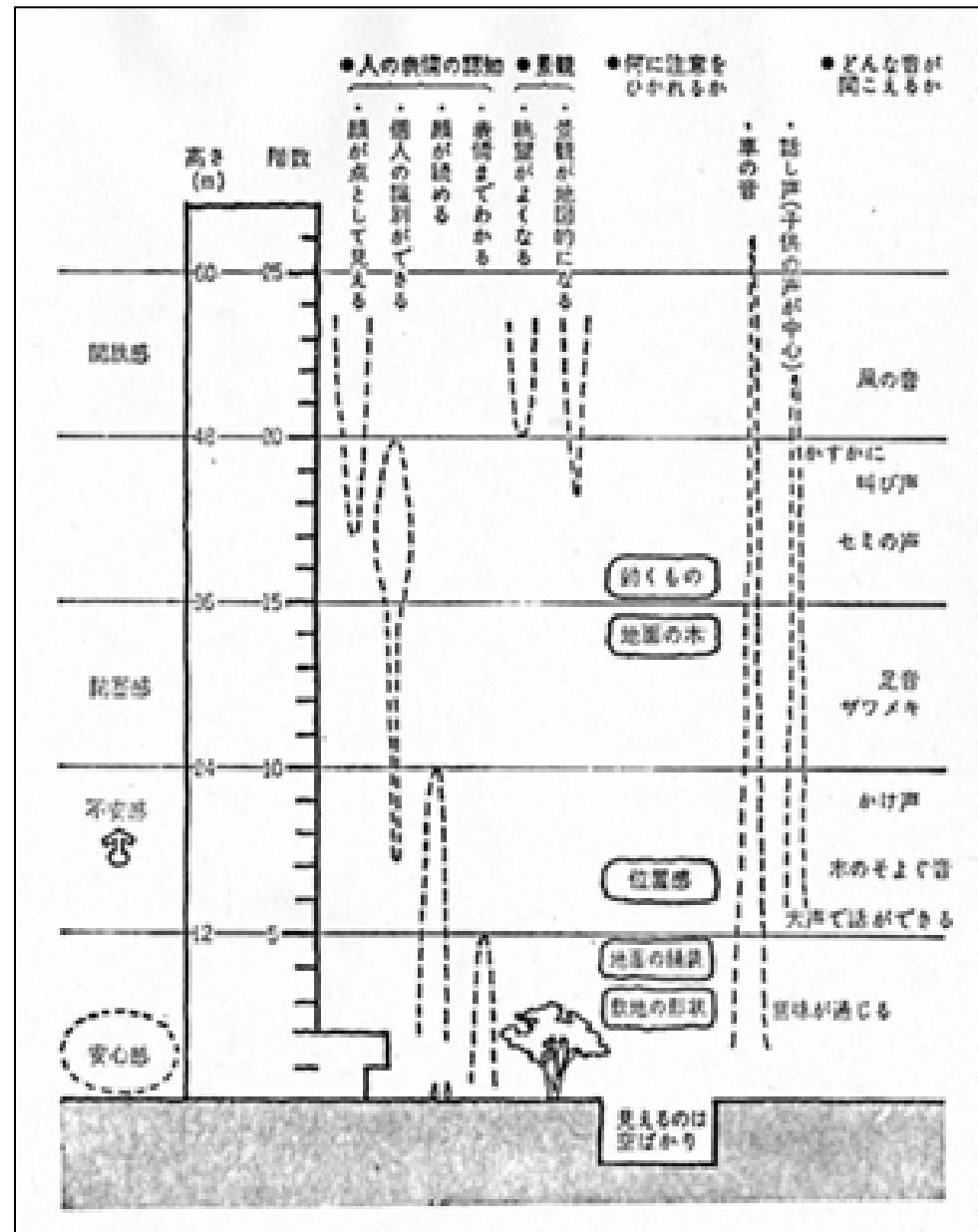
- ・要素が複合して現出する景観の影響検討



# (1) 身体的、 視覚的特性 (人間尺度)

・高さに関しても、人間の身体的ものさしが景観の認識、評価に影響する。

戸沼幸市(1978)



## (1) 身体的、視覚的特性(高さ)

- ・ 構造物単体の大きさによって受ける印象は大きく異なる。



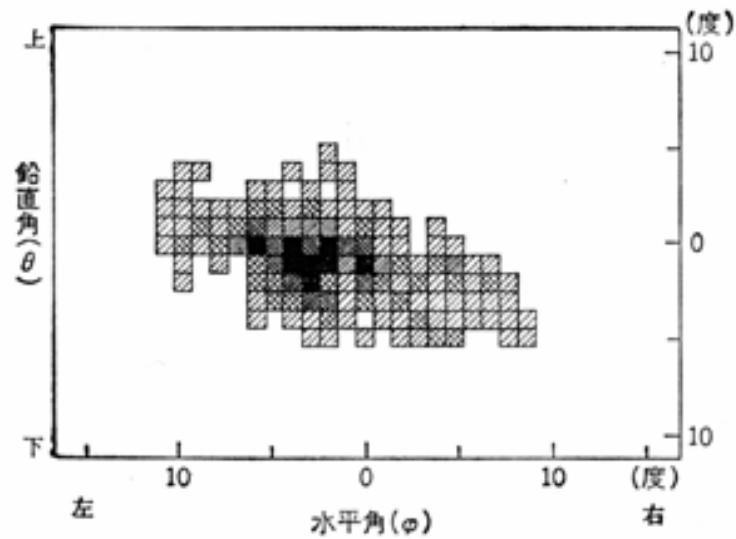
## (1)身体的、視覚的特性(大きさ:見込角)

### < 角度に関する知見の整理 >

- ・熟視覚:対象をはっきりと見ることのできる視覚  
( $1^{\circ} \sim 2^{\circ}$ )
- ・頭部に対する眼球の相対的移動範囲  
(水平角 $20^{\circ}$ , 垂直角 $10^{\circ}$ )
- ・静視野:視点が静止している場合に見える範囲  
(左右各々 $60^{\circ}$ , 上 $70^{\circ}$ , 下 $80^{\circ}$ )

# 補: 視覚特性 (注視点の分布)

- ・注視点の集中によって目立つ場所が決まる



注視点の分布(中村良夫)

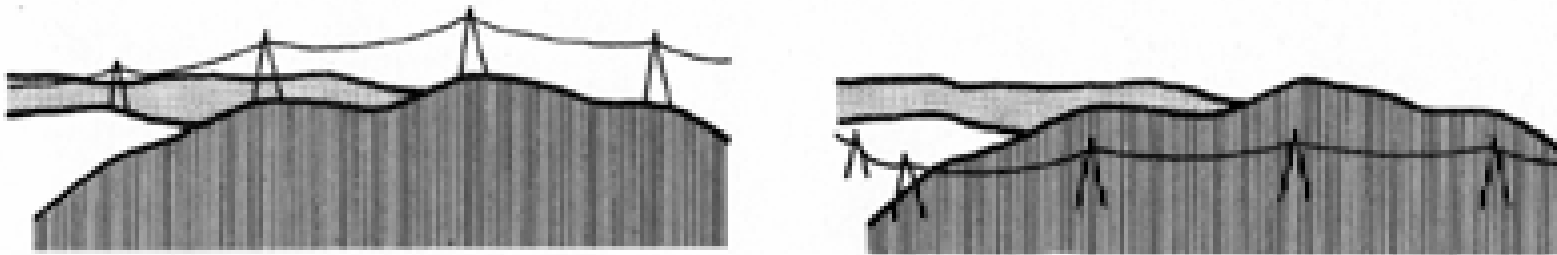


視対象に対する注視点の停留とその視線(Yarbus, 1967; 池田, 1988)

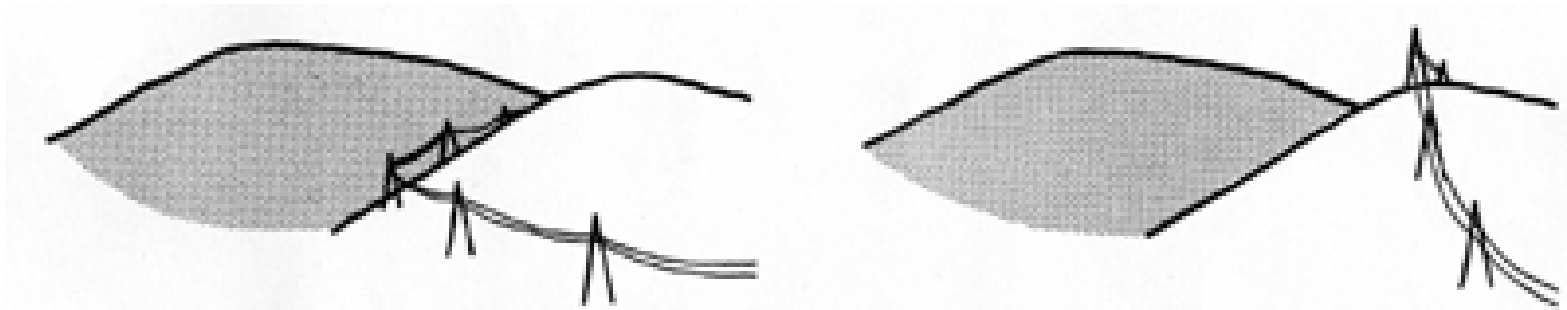
# (1) 身体的、視覚的特性(立地)

## < 地形面での影響の少ない立地 >

・スカイライン等目立つ場所への立地は影響が大きい



・地形のライン、流れに合わせた立地は影響が軽減される

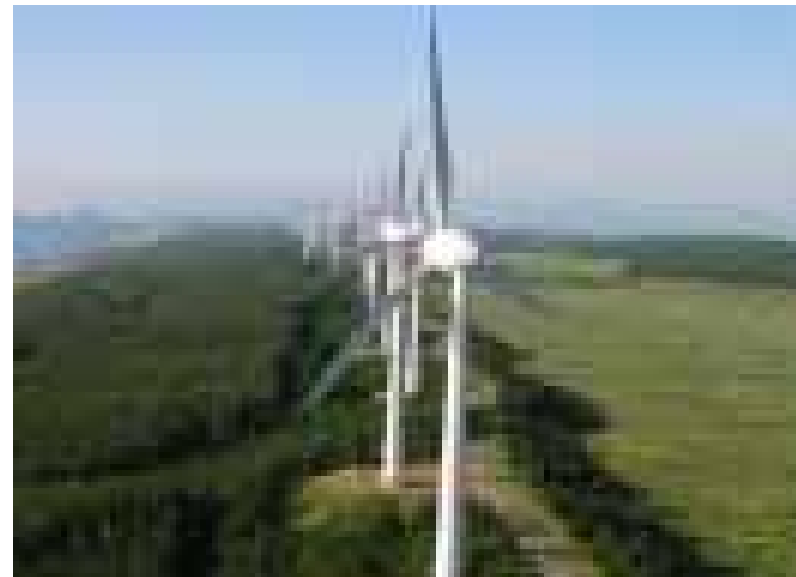


## (2) 同化型景観調和: 対象場の性格

\* 「同化」を考えるうえでは、対象場としての自然景観の性質が問題になる



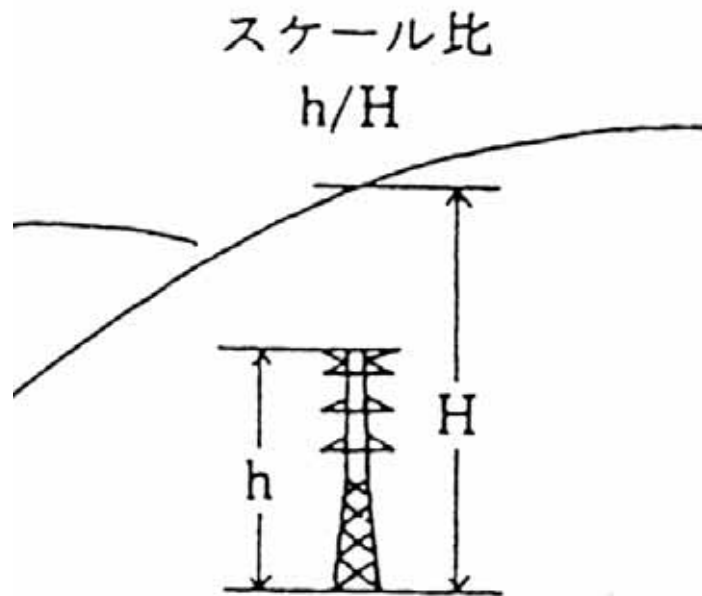
変化に富んだ地形への立地  
(地形の有するスケール感への影響)



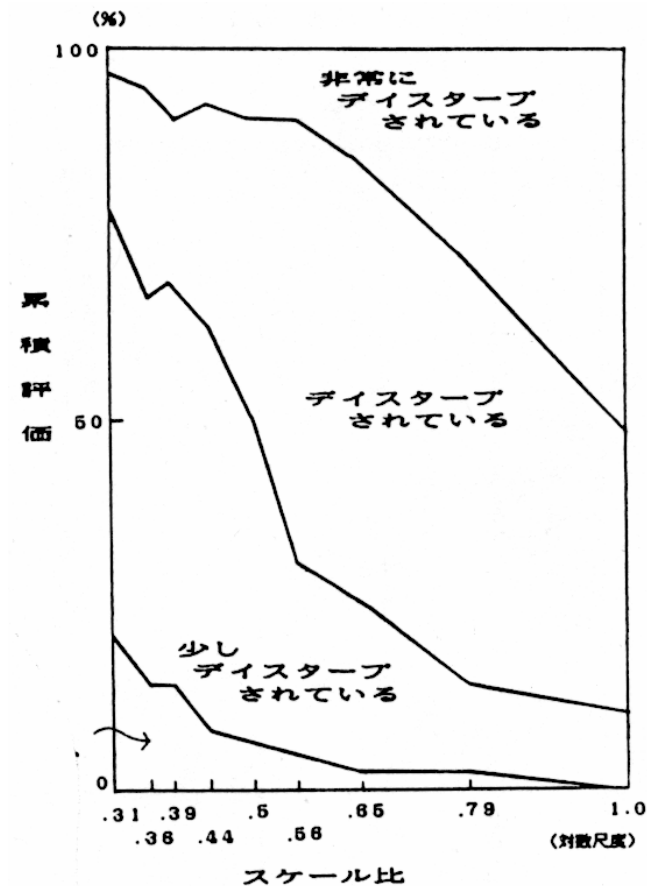
スケールの大きな地形への立地  
(水平的な広がりへの影響)

## (2) 同化型景観調和：検討指標(大きさ)

- 対象場のスケールによって、許容される主対象のスケールも異なるため、地域ごとに検討が必要である。



熊谷洋一ら(1982)



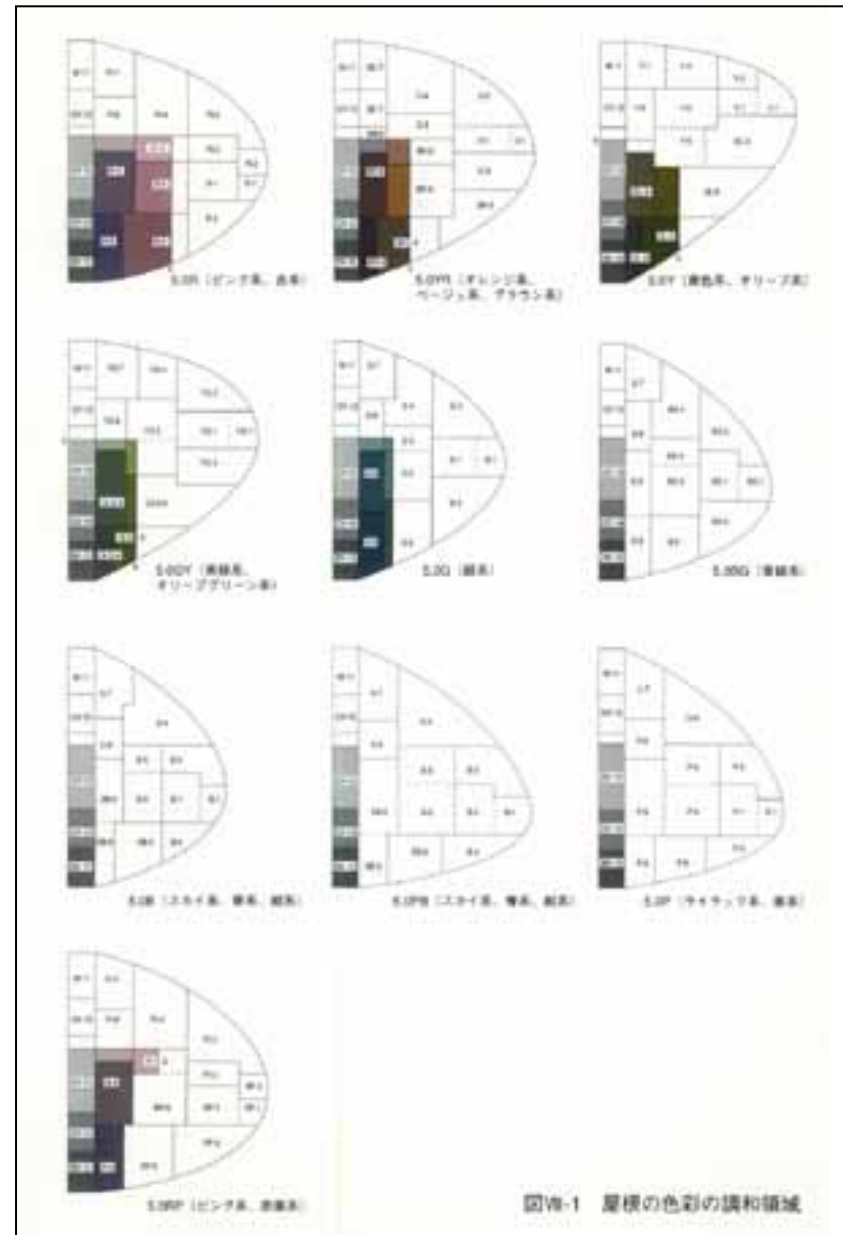


## (2) 同化型景観調和:

### 検討指標(色彩)

- ・自然風景地における人工構造物の色彩調和に関しては、低明度、低彩度が原則である。(金属物は、+ 低輝度)

麻生恵(1995)



### (3)要素の複合：複数(群として)の要素

- ・「量」「配置」によって印象は異なる



線状の配置



ランダム？配置